

高森町議会だより

PARLIAMENTARY INFORMATION

絆



9月定例会	2
町政を問う(一般質問)	7
常任委員会報告	10
議会全員協議会	12
町民の声	15



令和2年11月発行

No.79

9月定例会

収穫の秋、稲刈り本番

人事案件



高森町教育委員会委員
岩下 章一 氏

高森町 教育委員会委員の 選任を同意

教育委員会委員の後藤福一氏が令和2年9月30日をもって任期が満了するため、その後任として岩下章一氏の選任を同意した。

『新型コロナウイルス感染症の 影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し 地方税財源の確保』を求める 意見書の提出について

新型コロナウイルス感染症の拡大は経済的、社会的に大きな影響をもたらし、地方財政の急激な悪化も懸念されることから、地方税財源の安定的な確保を求めるための意見書が地方再生特別委員会委員から提出された。審議の結果原案どおり可決し、高森町議会議員一同より内閣総理大臣、関係大臣へ送付する。

高森町長等の給与及び 旅費に関する条例の一部改正について

役場職員の不祥事に対して、最高責任者である町長の給与を10月から来年3月までの6カ月間、10分の1減額するものであり、審議の結果原案どおり可決した。

令和2年 第3回9月定例会

令和2年第3回9月定例会は、9月10日から9月18日の9日間開催され、同意1件、認定1件、条例3件、予算7件、その他2件を審議し、原案のとおり可決しました。

一般会計補正予算(第5号) 専決

1億47万5千円を追加

予算総額 62億2,402万6千円

予防接種助成拡大事業

事業費 1,230万円

新型コロナウイルス感染症とインフルエンザ等の同時流行を防ぐため、予防接種の助成を拡大する。

- ①インフルエンザの予防接種費用を今年度に限り全額助成(3歳以上の町民)
- ②高齢者肺炎球菌の対象者を今年度に限り65歳以上に拡充(65歳以上の肺炎球菌ワクチン未接種者)

自己負担2,000円(非課税世帯及び生活保護世帯は無料)

※助成期間はともに令和2年10月1日～12月31日まで



一般会計補正予算(第6号)

2億6,539万9千円を追加

予算総額 64億8,942万5千円

エンタメ業界と連携したまちづくり事業 事業費 4,008万円

地域おこし協力隊制度を活用し、エンタメ業界と連携した町づくりを実施する。

【事業内容】

※「096K^{オクロック}熊本歌劇団」と連携したまちづくりプロジェクト

有名漫画キャラクターとタイアップした地場産業活性化、ふるさと納税返礼品拡充プロジェクト

事業費	特別交付税	一般財源
4,008万円	4,008万円	0円

※096K(オクロック)熊本歌劇団
熊本を拠点とする出演者が女性だけの歌劇団。

町立学校空調整備事業

事業費 9,082万円

学校施設環境改善交付金を活用して、町立学校施設の特別教室に空調機を整備する。

事業費	補助額	起債借入額	交付税措置	実質負担額
9,082万円	2,588万円	5,840万円	4,088万円	2,406万円

【事業内容】

学校施設は、地震等の災害発生時には地域住民の避難場所としての役割も果たすことから、その安全性を確保することは極めて重要であるため、学校施設環境改善交付金を活用して環境を整備する。



▲普通教室に設置されている空調機

給水車購入事業

事業費 4,000万円 (地方創生臨時交付金活用予定)

新型コロナウイルスの影響により、有事の際に避難所での密を避けるべく自宅避難する方への水を確保するため、給水車を購入する。災害時や断水時にも使用する。

- 2トン車：1台
- 4トン車：1台



▲4トン給水車

令和2年 第3回8月臨時会

(令和2年8月5日開会)

一般会計補正予算(第4号)

1億4,900万円を追加

畜産・酪農収益力協力整備等特別対策事業(施設整備事業)

地域一体となった収益性向上に必要な畜舎、堆肥舎等の施設整備及び飼料収穫機械等の導入に対して、国の制度を活用して支援する。

事業費	補助額	事業者負担	町負担分
3億5,497万円	1億4,900万円	2億597万円	0円

令和元年度決算認定

令和2年第3回定例会において、9月15日各常任委員会で審査、認定した。

一般会計
実質の収支額は、
1億7,864万円の黒字と
なりました。

歳入	5,781,647千円
歳出	5,588,216千円
差引残額	193,431千円
翌年度繰越額	193,431千円
繰越明許費繰越額	14,791千円
実質収支額	178,640千円

収入（歳入）の主なもの

1	町税	583,653千円
2	地方譲与税	81,424千円
3	利子割交付金	283千円
4	配当割交付金	1,175千円
5	株式等譲渡所得割交付金	788千円
6	地方消費税交付金	110,022千円
7	ゴルフ場利用税交付金	5,424千円
8	自動車取得税交付金	8,726千円
9	環境性能割交付金	2,177千円
10	地方特例交付金	10,294千円
11	地方交付税	2,126,686千円
12	交通安全対策特別交付金	653千円
13	分担金及び負担金	18,455千円
14	使用料及び手数料	86,042千円
15	国庫支出金	704,765千円
16	県支出金	546,230千円
17	財産収入	144,866千円
18	寄付金	152,465千円
19	繰入金	31,970千円
20	繰越金	189,609千円
21	諸収入	27,998千円
22	町債	947,942千円
合計		5,781,647千円

支出（歳出）の主なもの

1	議会費	63,407千円
2	総務費	968,895千円
3	民生費	1,338,776千円
4	衛生費	238,200千円
5	農林水産業費	332,029千円
6	商工費	95,993千円
7	土木費	759,469千円
8	消防費	703,051千円
9	教育費	377,087千円
10	災害復旧費	27,694千円
11	公債費	494,495千円
12	諸支出金	189,120千円
13	予備費	0円
合計		5,588,216千円



特別会計

決められた特定の事業を行う場合に特定の収入をその事業に充てるため、一般会計とは区別して6つの特別会計を設けて経理を行っています。
どの事業も私たちの暮らしを支えるために欠かせない大切な事業ですが、特定の収入だけでは運営が出来ず、一般

会計から繰り入れを行い、運営を行っています。特別会計の財政悪化は一般会計の財政悪化にもつながるため、独立採算制の原則に基づいて財政の健全化に努めていくことが大事です。

会計名	歳入	歳出	収支額
国民健康保険特別会計	1,074,209千円	1,060,264千円	13,945千円
後期高齢者医療特別会計	96,880千円	93,109千円	3,771千円
介護保険特別会計	1,054,392千円	1,018,070千円	36,322千円
簡易水道特別会計	171,193千円	155,366千円	15,827千円
農業用水供給事業特別会計	16,965千円	14,716千円	2,249千円
鉄道経営対策事業基金特別会計	54,337千円	54,337千円	0円

令和2年9月定例会 主な質疑応答

承認第11号

令和2年度高森町一般会計
補正予算(第5号)

質

〔佐伯金也議員〕

令和2年度に限り全住民を対象に、インフルエンザ予防注射を無料にするというのだが、インフルエンザと新型コロナウイルスの判別方法は医師会と協議しているのか。

答

〔住民福祉課長〕

インフルエンザと新型コロナウイルスの判別の対応は各医療機関に任せる。疑わしい場合は両方の検査を受けるなど、医療機関が状況に応じて対応。

質

〔牛嶋津世志議員〕

地方再生、地方創生臨時交付金は補正で1億4,500万円程度になっているが、使用範囲及びどんな使い勝手が出るか。今後地方臨時交付金は追加があるのか、あれば最終的にどの位の金額か。

答

〔副町長〕

地方創生臨時交付金は、第1次交付として6,800万円余りで、

議案第55号

令和2年度高森町一般会計
補正予算(第6号)

質

〔牛嶋津世志議員〕

株式会社コアミックスとの連携事業で25名の歌劇団団員を、地域おこし協力隊として採用予定だが、コアミックスの社員として活動するのではないかと、地域おこし協力隊は高森町の管理下にあると思うが、経費等の取り扱いはいか。

答

〔政策推進課課長補佐〕

地域おこし協力隊は会計年度任用職員です。活動費はすべて町から支出する。地域おこし協力隊なので高森町の規則条例に基づいた身分となる。

質

〔佐伯金也議員〕

096K(オクロック)熊本歌劇団の方が地域おこし協力隊員ではないか、コアミックスとの資金関係、提携関係について分からない。会計年度任用職員で実質働いているのが、コアミックスであればおかしいのでは。096K熊本歌劇団としてコアミッ

クスの仕事で得た収入は、高森町の収入になるのか。地域おこし協力隊は国の制度事業を使うので、会計検査対象ではないか。会計年度任用職員は役場職員に準用することから、アルバイト・兼職などは禁止されているが。

答

〔政策推進課長〕

096K熊本歌劇団の地域おこし協力隊は高森町の地域おこし協力隊で、高森町の地域おこし協力隊が歌劇団として活動するイメージとなる。高森町のPRをする活動は、町の費用として認められると思う。コアミックスとの関係は協議しながら決めて行く。

通常、地域おこし協力隊は月曜日から金曜までの活動で、その他の曜日は自由に行動して良いとなっている。会計年度任用職員については、短期の者に関しては副業、アルバイトは可能となっている。

質

〔牛嶋津世志議員〕

新しく給水車を2台設置ということだが、車両の重量と積載量は。

答

〔建設課長〕

給水車は4t車1台と2t車1台。積載量は、4t車3,900リットル。2t車、1,900リットル。

高森町より配布されたアクリル板



答

〔政策推進課長〕

事業者者に感染予防を徹底してもらい、状況を見ながら進めていく。チェックは、県の感染予防研修を受けた商工会と商工観光係の担当が回る。

質

〔後藤巖議員〕

2次交付分として2億3,000万円程度交付される予定で合わせると約3億円程度になる。使途については、基本的には感染症対策・地方創生臨時交付金なので、地方創生に資する取り組みが対象となる。



NPO法人阿蘇フォークスクール

契約書の見直しをするお考えは

町長 再契約の必要があるのではないかと

質問 阿蘇フォークスクールの発足からこれまでの活動に対し、どのような感想をお持ちか伺う。

町長 地域おこしの活動をこれまで通してこれら上色見地区の活性化に大変多大なる貢献をされている。

特に、行政主体ではなく地域の方々が主体性を持って取り組んで運営されていることに、私としても大変すばらしいことと感謝を申し上げたい。

質問 フォークスクールと町との契約の見直しについて今後どのように進めたいか伺う。

町長 私が町長に就任して2度程要望書等の相談をいただいた。確かに当時の総務常任委員長が実施事業費の3割を

上限として補助するという町の提案を可とするという委員会報告をされている。

しかし、私は当時フォークスクール側も納得され縮結された契約書を確認した処、議会が議決した上限3割というのは、謳われてない。これを、盛り込んだ契約書に変えることからのスタートになるのではないかと。



外国人労働者の生活環境整備

調査結果を基に協議会を設立しては

町長 各課の役割分担・調整をしながら協議会立上げに進みたい

質問 令和2年3月定例会一般質問答弁より、「外国人労働者・民間事業者の意見を聞いてほしい」という町長からの要望に応え、アンケート調査を実施した。その結果を基に今後、行政と事業主とで協議会を設立し、外国人労働者の生活環境整備に取り組むことが出来るか伺う。

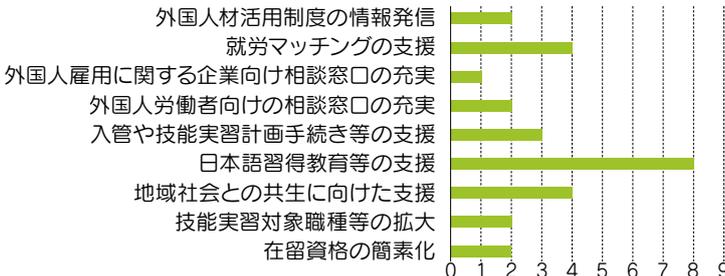
外国人労働者の役割について、国がこれだけ方向性を示している中で、市町村として出来ることは、協議会の立上げだと思っている。各課各担当にそれぞれの役割分担とその仕事内容をきちんと位置付けていく。行政職員に大きな負担が掛かってくるので、議会もその中に入って頂き、横断的な施策を行う。

住民福祉課長 現在、外国人を受け入れる準備と申

請書等の対応、常に国や県の事業のチェックを行っている。

推進課長 国際観光誘客事業については新型コロナウイルスのフェーズに合わせた対応をとっている。公立日本語学校設置プロジェクトについては、視察研修を実施し進めていく。

外国人の雇用について行政に期待すること



一般質問

行政組織・人事管理

今後、どのように取り組むのか



立山広滋議員

5人の熱弁

佐伯金也議員

町長

適正な定員管理と技術職の確保

質問

役場職員のいびつな年齢構成という課題解決のため、あるいは、組織における専門的な知見やノウハウの継承のため、今後、どのように取り組んでいくのか。

また、組織運営という観点から、再任用職員の新たな活用として、特に課長を経験された退職職員、単に再任用になるのではなく、全てオールマイティに経験された専門的な見識や経験を必要に応じて、若い課長を補佐する立場で組織を支え、次の世代への橋渡しをお願いしたいと考えている。退職者が審議員として残れるようにし、庁舎内の職員をそこで活用するという手段が一番スピードが早い。効果があると思う。

町長

適正な定員管理を行うこと、技術職の確保が必要である。そして、今後どうやって取り組んで行くか、当然社会人枠の採用等も活用していかなければ、必然的に行けなくなってくるのではないかと思っている。

基本的な公務員としての心得を担うということは、地域の行政を担うということ、基本は地域を知ること、住民を知ることが一番大事である。積極的に地域の行事等に参加するということは、現状の職員にもやつてもらいたいと思う。そこで地域を学ぶことで、地域に根差した職員の育成が図られるのではない

だろうか。

また、組織運営という観点から、再任用職員の新たな活用として、特に課長を経験された退職職員、単に再任用になるのではなく、全てオールマイティに経験された専門的な見識や経験を必要に応じて、若い課長を補佐する立場で組織を支え、次の世代への橋渡しをお願いしたいと考えている。退職者が審議員として残れるようにし、庁舎内の職員をそこで活用するという手段が一番スピードが早い。効果があると思う。

そこで、今年度から総務課長経験者もしくは課長局長経験者に審議員として入ってもらっている。この手法は後2年間続けていきたい。

今後は、議会と共通認識の下、組織運営を行っていききたいと思っている。

今後は、議会と共通認識の下、組織運営を行っていききたいと思っている。

高齢者の移動援助

高齢者の免許返納等への対応は



町長

電動車のリース等を検討する

質問

職員採用と職員の窓口対応教育について、県統一試験の今後とコロナ禍の為に窓口シールドが張っており、その上お互いがマスクを着用しての対応だが、果たして温かい対応対話が出来ているのか。また、職員教育はどうしているか。

試験制度については3次の面接試験も含めて阿蘇郡市で何かしら考えていくべきと思う。これをしないと今後地元の若者が都会に流れてしまう危機感を持っている。職員の窓口対応については、現在のやり方が新しい対応様式になると思うので、職員には相手が何を思っているのか、相手の立場になり考える。分からないときは先輩たちに教えてもらう。その意味での講習会であり、現場研修で職員個々が思いやりを高めていけるようにしていきたい。

町長

試験制度については3次の面接試験も含めて阿蘇郡市で何かしら考えていくべきと思う。これをしないと今後地元の若者が都会に流れてしまう危機感を持っている。職員の窓口対応については、現在のやり方が新しい対応様式になると思うので、職員には相手が何を思っているのか、相手の立場になり考える。分からないときは先輩たちに教えてもらう。その意味での講習会であり、現場研修で職員個々が思いやりを高めていけるようにしていきたい。

高齢者の移動支援について。以前高齢者の免許返納について質問をしたが、その後公共交通網の会議もなくそのままになっている。高齢者の移動支援は難しい問題であり、生活環境が厳しくなっている中でバス、タクシー利用も簡単でなく、本町は広い為大津までとなると自家用車に頼らざるをえない。せめて町内移動だけでも問題解決する方法はないか。

町長

スクールバスと町民バスの併合やそれにタクシー会社も加えた新たな組織も考えたい。また、町内移動についても電動車のリース等を当然検討していきたい。高齢者の免許返納率向上のため、担当課で協議してもらい是非とも実現させたい。

高齢者の免許返納率向上のため、担当課で協議してもらい是非とも実現させたい。



高森町の財政状況

今後の展開は

町長 今後の見通しは決して暗くない

質問 高森町の財政について、南阿蘇鉄道関連の事業など財政需要の増加が見込まれるなかで、どのような点に注目しながら健全かつ弾力性のある財政に取り組んでいくのか尋ねる。

町長 高森町は計画性を持って若い職員が勉強し、議員や先輩から教えを頂きながら進めていかねばならないのではと思っています。

当たり前の事だが歳入の確保、歳出の削減をしなければならぬ。

高森町の歳入の4割を占める地方交付税の確保に関しては国への要望を続け、税務課には税の確保に向けた専任部署、ふるさと納税に関しては更なる推進策として、新しい産業創出による高森町でしかない商品開発をして財源の確保に努める。

事業に関しては国・県の補助金を最大限活用、残りを過疎債など起債を起すことで、一般財源から極力支出しない様に取り組んでいる。

また財政調整基金については効率の良い基金運用をする事で収益をだしている。

少子高齢化に対し人口減少をしている現状の規模に見合ったところでしっかりとやっていく。

大事なことは私も含め職員と町民の方々が一緒に、置かれている立場、状況を自覚してやっていかねばならないと考えている。

議会の皆さまにもアドバイスを頂きながら職員と話をしつつ進めていきたい。

現状では全く悲観するような財政状況ではないと考えている。

『ふるさと納税』議員勉強会

9月18日議会終了後に政策推進課長及び担当者を招いて、ふるさと納税に関する勉強会を開催した。ふるさと納税は「納税」という言葉が付いているが、寄付金税制の一つとなっており、税制上の実態は「寄付」となる。

制度の内容としては、任意の自治体に寄付をして返礼品をいただくもので、一定の手続きをすることにより翌年在住している自治体

から寄付金額分の税金が控除される。

税に対する意識の高まり、地方の環境を育む支援、地域のあり方を改めて考えるきっかけになることなどが期待されている。

令和元年度本町は全国から1億5,200万円程の寄付をいただいた。貴重な財源として様々な事業に活用をしている。議会としてもふるさと納税の更なる推進に努めていく。

■高森町の主な返礼品



あか牛ハンバーグ



あか牛2種食べ比べセット



あか牛スライスセット



馬刺しセット

常任委員会報告

総務文教

☆閉会中の継続調査

上半期が終了することから、今年度の事業の進捗状況について調査をすることも総務課には台風時の防災対策や、コロナ禍における避難対策や今後の財政運営、教育委員会には、タブレット図書館運営協議会等の審議状況、コロナ禍における学校教育の状況について説明を求めた。

【主な質疑事項】

質 高森駅周辺再開発施設設計で水盤は必要ないとの意見があったが。

答 現在精査中であるがこれまで出された提案、意見が反映されるようにしたい。

質 今年度中止した事業は、来年度新たに実施するのか。

答 中止した主な事業は、町単独の観光事業である。まず観光事業者の生活維持のための施策を進めている。今後の事業計画についてはコロナの感染状況、観光客の動向等見極めたい。

質 「高森はしと酒」事業が中止さ

れたと聞くが、販売済みのチケットの処理について伺う。

答 事業主体は、観光協会であるが実施されることに期待感もあり、暫く状況を見て対応したい。

質 防災無線の個別受信機の設置は、それぞれ個人で設置することになるのか。

答 電波の状況により別途アンテナの設置が必要となる場合もあり、専門業者が各戸毎設置する。防災無線のデジタル化はすべて今年度中には終了する。

質 タブレット図書館で、まず児童生徒の実証結果を精査し、住民に広げていくとあるが、児童生徒の調査結果がどのように住民につながるのか。

答 児童生徒の実証調査は、機器の動作確認であり、それを精査し、住民の方に使っていただけようようにすることにある。図書館の利用は無料となる。

質 高スポと体育協会が統合した場合、入会金の取り扱いは。またスポーツ以外のウクレレなど文科系の種目の取り扱いについて

伺う。

答 入会金については、現在関係者と協議中である。文科系の種目については、統合後も継続したい。

☆会期中の委員会審議

委員会に付託された「令和元年度高森町各会計歳入歳出決算の認定」「令和2年度高森町一般会計補正予算」「令和2年度高森町鉄道経営対策事業基金特別会計補正予算」については、担当者から詳細に説明を受け、審議した。

◎令和元年度高森町各会計歳入歳出決算の認定

関係各課から歳入歳出決算書の内容及び実施した主な施策の成果、生活環境課から公有財産の土地、建物、山林の現状や管理状況について説明を求めた。審議にあたっては、税や料の収納状況、収入未済額の発生理由、予算の流用、予備費充用は適切なものか、多額の不用額が生じた原因や理由等について詳細に審議した結果、適切なものと認定した。

◎令和2年度高森町一般会計補正予算、令和2年度高森町鉄道

経営対策事業基金特別会計補正予算

担当者から補正予算について詳細に説明を受け審議した結果可とすることに決定した。

【主な質疑事項】

質 消防団員が減少していくなか、今後組織の再編も考える必要があると思われるが、再編の進め方について伺う。

答 消防団の組織の再編は、喫緊の課題である。分団の統合や管轄区域の見直しも必要である。団長をはじめ幹部とも協議し進めたい。

質 今後の「高森にわか」の展望について伺う。

答 文化庁の補助を活用した調査事業を行い、県の民俗文化財の指定を受ける予定であったが、コロナ禍の影響で調査事業が中止となった。まずは町指定の民俗文化財の指定を行いたい。

質 英語検定の合格率や県内のレベルについて。

答 平成30年度の英語検定3級の合格率が50%、令和元年度が49.1%で熊本県の平均42%を上回っている。

常任委員会報告

産業厚生

☆閉会中の継続調査

健康推進課に住民への健康対策・指導方法、住民健診終了分の受診者数、前年度比較を、住民福祉課においては町立保育園の民営化への状況について説明を求めた。

【主な質疑事項】

質 コロナ禍における住民健診の実績、課内でのこれからの取り組み。

答 まず住民健診前半の6月の検診が終了した時点で、受信者数は昨年度対比で住民健診54名増、特定健診17名の増加である。高森地区の検診対策として、待合室の分散化やスタッフ増員、駐車場の整備を講じた。防災無線とTPCによる周知で検診件数があがったのではと考えている。10月に追加検診を行うので未受診者へ啓蒙活動をしていく。

質 検診結果をどの様に反映させていくか。

答 受診するだけでなくその後の保健指導という課題がある。保健指導により健康状態が改善すれ

ば努力者支援制度のポイント加算、そして住民の健康促進・予防に繋がる。

質 介護拠点施設の各地区での認識。

答 ハード事業の方が先行してしまっていて、本来の目的であるソフト事業、「通いの場」を構築することによって100歳体操や口頃の会話の場として利用して頂き、介護保険料の伸びを鈍化させるのが本来の目的であり、本年度はしっかりと伝えていく。

質 町立保育園の民営化の進捗状況。

答 現在は保護者説明会の資料とアンケート調査を作成中。10月頃に保護者説明会、2月には民営化検討委員会に報告したい。その後、事業者の公募予定。令和4年4月からの民営化を目指す。

☆会期中の委員会審議

委員会に付託された「令和元年度高森町各会計歳入歳出決算の認定」「高森町特定教育・保健施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の

一部改正」「令和2年度高森町一般会計補正予算」「令和2年度高森町国民健康保険特別会計補正予算」「令和2年度高森町後期高齢者医療特別会計補正予算」「令和2年度高森町介護保険特別会計補正予算」「令和2年度高森町簡易水道事業特別会計補正予算」「令和2年度高森町農業用水供給事業特別会計補正予算」「高森町介護保険条例の一部改正」について、担当者から詳細な説明を受け、審議した結果、可とすることに決定した。

【主な質問事項】

◎建設課

質 給水車購入事業について。また使用方法、納入時期は？

答 給水車は2台購入。飲料水の給水のみとして使用、各戸への巡回給水も可能である。運転手は職員を充てる予定。納入時期は次年度を予定している。近隣町村では持たない車両なので有事の際を貸し出しも考える。ランニングコストも考えた運用をする。

◎健康推進課

質 集落サポートプロジェクト事業について。活用方法は？

答 昨年度事業にて各公民館が通いの場として整備された16施設を対象にWi-Fiの整備、及びパソコン、プリンターなどの機器を配置する事業。設備を充実させることで、世代間を飛び越えた交流の促進や、コミュニティの強化、集落の維持を図るのが目的である。機器の管理や運用は今後採用を予定している集落支援員が主に行う。地域包括センター、社会福祉協議会、民生委員、駐在員及び住民も使用する施設なので連携を取りながら運用していく。

◎農林政策課

質 中山間農業モデル地区支援事業について。現状と今後の展開は？

答 現在は草部南部地区の1カ所を取り組んでいる。農家レストランを計画していたが、縁側カフェに変更して地区を周遊へと変更した。またハウスにてピーマンの生産に取り組み一定の収益があがっている。地区内の活性化や連携強化として実績はあがっていると考えている。また地域が主体となり計画及び申請をしたいと申し出があれば担当課として説明やバックアップをしていく。

議会全員協議会

8月26日

新型コロナウイルス関係緊急対応予算の専決（一般会計補正予算第5号）について各課より説明を受けた。



9月14日

コアミックス関連事業の再確認。南阿蘇鉄道に展示してあるSLについて、利用者の安全を確保する点から当初町内移設を予定していたが、移設費用等考慮すると費用対効果が見込めず、福岡県直方市のNPO法人汽車倶楽部へ無償譲渡することとした。政策推進課より説明を受けた。



10月6日

南阿蘇村議会議員と共に、南阿蘇鉄道とJR豊肥本線の接続強化に関する調査結果について、県担当者より報告を受けた。その後南阿蘇鉄道上下分離後の新法人の費用負担割合について、南阿蘇村議会と協議を行った。



熊本県町村議会議員研修会報告

津留 智幸

令和2年10月2日、熊本県立劇場にて熊本県町村議会議員研修会が開催され、本町から後藤議長をはじめ議員4名、事務局2名が参加しました。今回のテーマは『これからの防災のあり方』として、テレビ等でお馴染みの 防災システム研究所所長 山村武彦氏の講演を聞いた。

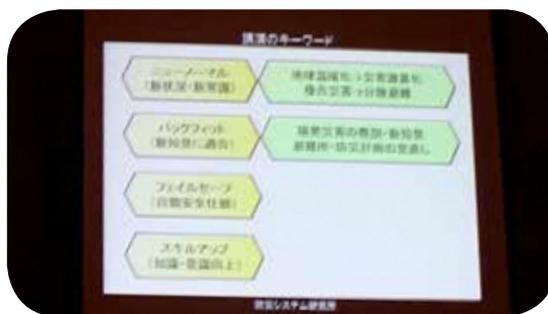
近年相次いだ自然災害とコロナ対策の現状と今後の見通しについて、どの災害においてもこれまでの想定をはるかに超える現象が起きており、命を守るための分散避難、介護施設の災害対応見直し、大規模停電に備える行動、広域避難計画を立てるなど、総合的な判断が重要である。

また、『自助・共助・公助』に加え、『近助』の重要性をアドバイスされ、そのためには、住民の意識啓発が必要であり、それを理解してもらうには行政として何が必要か工夫することが求められる。

災害から3～5年過ぎると災害記憶半減期となり、防災意識が薄れていく事が懸念されます。いざ!という時、心と体が言う事を聞かない『凍り付き症候群』が発生し、緊急スイッチが入らない人が多いと言われる昨今、大切な命を守るため形式的ではなく、実践的な災害予防訓練を近所の方々と助け合いながら定期的開催していく事が必要と、改めて認識できた講演会だった。



開会式の様子



災害から身を守るためのポイント

防災隣組10か条（互近助）^{ごきんじょ}

1. ほどよい距離感で（べたべたせず、プライバシーに深入りせず）
2. 困ったときはお互い様
3. あいさつは、先手必勝
4. 気持良い前向き挨拶
5. 地域行事に積極参加
6. 欲張らないで、身近なことからコツコツと
7. 回覧板は、顔見て手渡しで
8. いざという時、ためらわないで声かけて
9. 向こう三軒両隣で安否確認チーム
10. 無理なく、楽しく、自分のために、住み続けたいまちづくり



防災システム研究所 山村武彦氏

活動報告

防災公園お披露目式

令和2年9月20日

新型コロナウイルスの影響により開催が延期されていた、防災公園のお披露目式が9月20日に開催された。

今回完成した防災公園の目的は、近年度重なる地震・台風・集中豪雨等大規模災害に備え、水や食糧及び機材を保管する備蓄倉庫・一度に240名分の炊き出しが可能なかまど・入浴施設・35台収容の車両駐車場・ヘリポートなどを完備した立派な防災施設が完成した。

また、この日は女性消防団による炊き出し訓練も行われ来賓の皆様は豚汁が振舞われた。



阿蘇大橋地区の斜面对策の完成

国道57号現道部開通式

令和2年10月3日（土）に斜面对策の完成式及び道路の開通式が行われ国道57号現道部が熊本地震以来、4年半ぶりに復旧し午後2時から一般車両も通行可能となった。



町民の声



本田 裕樹さん
(高森・上在)

新型コロナウイルスの発生、蔓延により私たちの生活は様変わりしました。県をまたいでの移動、人と人との距離の取り方、外出先でのマスク着用など様々です。そのことによって人と人との心の距離までもが離れてしまっているように思います。

また新型コロナウイルスによって今までなかった偏見や差別が生じています。人と人との距離が離れやすい環境だからこそ今求められているのは正しいものの見方ではないのでしょうか。正しいものの見方とは、自分中心の誤った見方を捨て、客観的にみると言うことです。私たちはつい世の中を自分の都合良いようにねじ曲げて見てしまいます。それは、幼い頃から培った多くの経験、それに家族や友人、先生から受けた影響、自分の興味や価値観、自分自身の損得の感情によるものです。人は客観的に見ているつもりでもこれらのことを通して見てしまい世の中を正しく見る事ができません。

自分が見ている世の中は、他人が見ている世の中と同じでしょうか。経験や影響、環境、価値観は人によって違うのですから世の中が違って見えて当たり前です。人は自分の世の中と他の世の中は同じであると思いがちです。ですから偏見や差別争いごとへと繋がるのです。もしかすると正しい見方などできないのかもしれませんが、しかしながら、一人一人が自覚し正しい見方に努めれば世の中は明るく変わり、いたずらに傷つけあうことは減っていくでしょう。自分自身も生きやすい世の中になります。互いに互いを認め合えば、たとえどんなに離れていても心の距離が離れることはありません。こんな世の中だからこそ正しい見方を心掛けなければなりません。町政におきましても正しい見方を期待いたします。

最後になりましたが新型コロナウイルス禍、この苦境に立ち向かうすべてのひとに敬意を表します。



豊田 希さん
(色見・戸狩)

高森を知ったのは、20代半ば、福岡にいた時のこと。当時の彼（現在の夫）が突然、自然豊かな生活に憧れて単身移住した町が、ここでした。

私も時々遊びに来たものの、当時はコンビニすらない田舎町。これまで生活してきた場所とあまりの違いに驚きましたが、何かここで新しいことが始められそうな予感がして、2年後両親の反対を押し切って移住。2002年のことでした。ところが友だちも親戚もいない。外出することも、化粧をすることもしない日々。まもなく生まれた長女と二人の生活は、甘く優しいものではなく、私にはただただ孤独な毎日でした。そんな中、あるものが私を救ってくれたのです。湧水トンネルの「水」です。

当時、娘の肌が弱く、頻りに皮膚科通い。出口が見えない治療を続けていた時に、ふと、この水を使って石鹸を作ってみたらどうだろう——そう思った瞬間「これだ」と確信したのです。私が外に目を向け、石鹸作りを一歩行動に移してみると、高森で協力したいと言ってくれる人が現れ、石鹸を使いたいというママ友が現れ、商品として取り扱ってくれる店ができました。数年間出店したクラフトフェアでは沢山のお客様と出店者同士が会う素晴らしい機会となりました。高森は自然だけでなく、人も豊かだったのです。石鹸作り開始からまもなく15年。今では全国にお客様が広がりましたが、これも全て高森の自然と、これまで協力してくれた家族や友人知人のお陰だと心から感謝しています。

熊本県産農畜水産物の学校給食への提供事業試食会

目 的

10月23日（金）熊本県産農畜水産物の学校給食への提供事業の一環として議会総務文教常任委員5名が試食会に招待され、この日、高森中央小学校の子どもたちと給食を試食した。

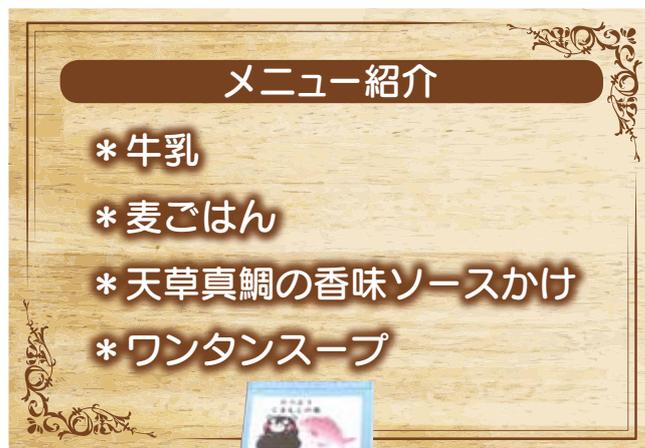
この、事業の目的は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、インバウンド需要や外食需要の減少により影響が生じている県産農畜水産物について、希望のある学校給食実施校への食材を提供し、食育を通じて県産農畜水産物への理解を深めるとともに、地産地消の推進、PRを目的として実施している事業である。

提供期間

令和2年6月から令和3年3月中旬まで



毎日おいしい給食ありがとう



給食を試食する総務文教常任委員

編集後記

大型台風も大禍なく過ぎ去りの秋の訪れですが収穫を祝う祭り囃子もなく、いつもと違う秋もあります。でも、必ず戻ってくる平穏な日常を心を整えて待ちたいものです。

後藤 清治



議会広報特別委員会

議 長 後藤 三治（発行責任者）
委 員 長 牛嶋津世志 委 員 津留 智幸
副委員長 後藤 清治 委 員 後藤 巖

